

令和5年度

肢体不自由教育部門

小学部

第2学年

⑬学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 2 年	
教科等名	国語			準ずる教育課程		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</li> <li>・順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。</li> <li>・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</li> </ul>					
担当教員	岡名 沙輝			年間授業時数 315	時間	
使用教科書	あたらしい こくご 二上・下（東京書籍）小学しょしゃ二年（日本文教出版）					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のねらいが分かりやすいように、ワークシートを活用する。</li> <li>・漢字練習については、漢字ドリルを活用し、繰り返し学習を行う。</li> <li>・辞書、タブレットなどICT機器を活用する。</li> </ul>					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	すきなこと、なあに	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて、話をつなぐことができる。</li> <li>◇ 教科書の対話例を読んだり、教師と代表の児童との対話を聞いたりして、話をつなぐ工夫について話し合う。</li> </ul>			
4	いくつあつめられるかな	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 経験したことから友達に伝えたい出来事をメモに書き出して集め、伝えたいことを明確にすることができる。</li> <li>◇ 伝えたい出来事をメモに書き出し、グループで感想などを伝え合う。</li> </ul>		○	
4	お話を音読しよう 風のゆうびん屋さん	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 物語の内容の大体を捉え、人物の声を具体的に想像して、物語を音読することができる。</li> <li>◇ 場面ごとに、手紙の内容や登場人物の様子を捉える。</li> </ul>		○	





9	しを読もう いろいろなおとのあめ 空にぐうんと手をのばせ	5	◆ 詩を音読し、詩に描かれていることを具体的に想像しながら言葉の響きやリズムを楽しむことができる。  ◇ 場面の様子を想像し、感じたことを動作化しながら、「空にぐうんと手をのばせ」を音読する。			
9	はんたいのいみのことば	5	◆ 対義語に関心を持ち、言葉を集めたり分類したりすることができる。  ◇ 教科書の練習題を行ったり、身の回りから反対の意味を表す言葉を集めて短文を作ったりする。			○
9	うれしくなることばをあ つめよう	8	◆ 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぎながら、尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合うことができる。  ◇ 教科書P117の例を参考に、学級全体でうれしかった言葉について話し合う。			○
9	気持ちを音読であらわそ う ニャーゴ	13	◆ 人物の行動や気持ちを具体的に想像し、想像したことを音読で表すことができる。  ◇ 「ニャーゴ」を読み、物語の中で起こった出来事を場面ごとに確かめる。			○
9	にたいみのことば ・ことばあつめ	5	◆ 同義語や類義語について理解することができる。  ◇ 教科書P139を読み、似た意味の言葉でも違いがあることを知り、意味に違いがある言葉の組み合わせを探して短文を作る。			○
10	絵を見てお話を書こう	11	◆ 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫して、簡単な物語を書こうとしている。  ◇ 教科書の絵やお話から、登場人物や場面の様子について、分かったことや想像したことを話し合う。			○



			◇ 「お手紙」を読み、物語の中で起こった出来事確かめるとともに、登場人物の気持ちを自分の気持ちと比べて想像する。		○	
12	おくりがなに気をつけよう	5	◆ 送り仮名の役割を理解し、漢字を正しく書いたり読んだりすることができる。 ◇ 既習の漢字から、送り仮名が複数あるもの確かめ、短文を作る。			
12	「ありがとう」をつたえよう	7	◆ 感謝の気持ちを相手に伝えるために必要なことを考え、言葉の使い方や間違いに気をつけて、手紙を書くことができる。 ◇ 「ありがとう」の気持ちが伝わるように手紙を書く。			○
12	どんな本を読んだかな	7	◆ これまでに読んだ本について友達と伝え合い、おもしろかったところを友達と共有することができる。 ◇ 読書カードをもとに、読んだ本について伝え合う。			○
1	むかし話をしょうかいしよう かさこじぞう	15	◆ 昔話を読み、おもしろいと思ったところを友達と伝え合い、共有することができる。 ◇ 「かさこじぞう」を読み、物語の中で起こった出来事確かめる。			○
1	声に出してみよう	5	◆ 音節（拍）と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いを理解し、日本語の母音と子音の構成について気付くことができる。 ◇ ひらがな表を見ながら、母音と子音の構成を理解する。			○
1	おばあちゃんに聞いたよ	7	◆ 長く親しまれるさまざまな言い回しや言葉遊びに触れることを通して、言葉の豊かさや地域の伝統に親しむことができる。 ◇ 「十二支」「小の月」について知り、楽しんで音読する。			○

2	この人をしょうかいしま す	11	<p>◆ 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫して、身の回りにいる人を友達や先生に紹介する文章を書くことができる。</p> <p>◇ 身の回りの人を振り返り、紹介する人を決める。紹介することをカードに書き出し、整理する。</p>				
2	ことばを広げよう	8	<p>◆ 文や文章の内容や表現に着目し、よりよい表現について考えることができる。</p> <p>◇ 様子や気持ちを表す言葉を集めて、文を作る。</p>				○
2	あなのやくわりを考えよ う あなのやくわり	13	<p>◆ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて考え、考えたことを文章にまとめることができる。</p> <p>◇ 「あなのやくわり」を読み、それぞれの物に穴が開いている理由や説明の仕方を確かめる。</p>				○
3	すきな場しょを教えよう	10	<p>◆ 伝えたいことに必要な事柄を選び、自分が好きな場所のことを紹介して伝えることができる。</p> <p>◇ 練習して気づいたことを生かして、みんなの前で話す。</p>				○
3	「ことばのアルバム」を 作ろう	9	<p>◆ 自分の文章の内容や表現のよいところを見付け、1年間で最も心に残った出来事を書き直す。</p> <p>◇ 1年間の中で心に残っている出来事を思い出して文章を書く。</p>				○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度



令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第2年	
教科等名	算数			準ずる教育課程		
ねらい	<p>(1) 数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形 の概念、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形に ついての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をした り、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表し たりすることなどについての技能を身に付けるようにする。</p>					
	<p>(2) 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図など を用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を 図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から 考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位 を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉 え、簡潔に表現したり考察したりする力などを養う。</p>					
	<p>(3) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返 り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養 う。</p>					
担当教員	岡名 沙輝			年間授業時数	175 時間	
使用教科書	わくわく算数2年 (啓林館)					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項や日常生活の事象と関連させながら学習を行う。</li> <li>・具体物を操作したり、図を書いたり、半具体物を用い視覚的に理解しやすいよう に援助する。</li> <li>・プリントを活用し、理解が定着するようにする。</li> </ul>					
月	単元(題材)名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	ひょうとグラフ	6	<p>◆ 身のまわりの数量について、表やグ ラフを用いた分類・整理の仕方を理 解し、それをもとに事象の特徴を考 えたり説明したりすることを通して、 統計的に問題解決する素地を育むと ともにその方法を生活や学習に活用 しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 身のまわりの事柄について、簡単な 分類・整理の仕方を理解し、表やグ ラフに表したり、それをよんだりす る。</p> <p>◇ 身のまわりの事柄について、表やグ ラフを用いてその特徴を考える。</p> <p>◇ 表やグラフのよさがわかり、表やグ ラフを通じて身のまわりの事柄の特 徴を捉え表す。</p>			
				○		
					○	
						○

4	時こくと 時間	6	<p>◆ 時刻や時間について、その意味の違いを理解し、時計を操作する活動を通して時間を求めたり午前・午後を用いて適切に時刻を表現したりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 時刻と時間のちがい、午前と午後の区別や正午の意味、日・時・分の関係がわかり、時計の針の動きをもとに、時刻や時間を求める。</p> <p>◇ 日常生活と関連づけて、時刻や時間について調べたり、午前や午後といった用語を適切に用いて表現したりする。</p> <p>◇ 1日の生活時間に関心を持ち、いろいろな時刻や時間について進んで調べる。</p>	<div style="background-color: #cccccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%; text-align: center;">○</div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%; text-align: center;">○</div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%; text-align: right;">○</div>
4	たし算とひき算	8	<p>◆ 2位数の加減計算について、(2位数)±(1位数)の暗算のしかたを考えたり説明したりすることを通して、簡単な加減計算を暗算でできるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ (2位数)±(1位数)の暗算の仕方を理解し、その計算を暗算でする。</p> <p>◇ 既習の1位数の基本的なたし算やひき算をもとに、簡単なたし算とひき算の計算のしかたを考え、説明する。</p> <p>◇ 簡単なたし算とひき算を暗算で計算するよさに気づき、(2位数)±(1位数)を暗算でする。</p>	<div style="background-color: #cccccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%; text-align: center;">○</div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%; text-align: center;">○</div> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%; text-align: right;">○</div>
5	長さ	10	<p>◆ ものの長さについて、その比べ方や普遍単位の必要性を理解し、測定する活動を通してものさしで長さをはかることや単位を適切に用いて表現することができるようにするとともに、量感を身につけて生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<div style="background-color: #cccccc; height: 40px; width: 100%;"></div>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ものさしのしくみや使い方、長さの単位「cm」「mm」のよみ方やかき方、単位の関係を理解し、長さを「cm」「mm」の単位を用いて表すことができる。また、ものさしを使って、長さを測定したり直線をかいたりする。</li> <li>◇ 長さの普遍単位の必要性に気づく。また、量感をもとに長さを予想したり適切な単位を判断したりする。</li> <li>◇ 長さとその測定に興味をもち、いろいろなものの長さを調べたり、長さの量感を身近な場面でいかそうとしたりする。</li> </ul>	○		
6	たし算とひき算のひっ算 (1)	12 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 2位数の加減計算について、(2位数)±(2位数)の筆算の仕方や答えの確かめ方を考えたり説明したりすることを通して、計算の理解を深め、繰り上がりや繰り下がりのある筆算ができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</li> <li>◇ 筆算の仕方を理解し、(2位数)±(2位数)の筆算を、一の位から順に、繰り上がりや繰り下がりに気をつけて、手際よく計算する。</li> <li>◇ 十進位取り記数法の仕組みをもとに、(2位数)±(2位数)の筆算の仕方を考え、説明する。</li> <li>◇ 答えの見当づけや筆算の仕方のよさに気づき、進んで取り組む。</li> </ul>			
6	図をつかって考えよう (1)	10 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 文章題において、テープ図のかき方を理解し、問題場面を図に表して数量の関係に着目して解法を考えることを通して、たし算やひき算になる場面の理解を深めるとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</li> <li>◇ 加法や減法の用いられる場について理解し、数量の関係を線分図(テープ図)に表す。</li> <li>◇ 逆思考を必要とする問題について、数量の関係を線分図(テープ図)に表して考える。</li> </ul>	○		
			○		

			◇ 線分図(テープ図)のよさに気づき、問題解決の際に進んで図を用いる。			○
6	100をこえる数	11	<p>◆ 100をこえる数について、そのよみ方やかき方を理解し、10や100を単位として数をとらえたり順序や大小、加減計算の仕方を考えたりすることを通して、十進法の理解や数の見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 1000までの数の表し方や仕組みを理解し、十進位取り記数法の仕組みをもとにして、1000までの数を表したりよんだりし、また1000までの数の大小を比べる。</p> <p>◇ 1000までの数について、100までの数と同じように、10や100などを単位としてそのいくつ分とみて表現したり、加減計算の仕方を考えたりすることができる。</p> <p>◇ 1000までの数について、数え方を工夫しようとしたり、十進位取り記数法のよさに気づいていかそうとしたりする。</p>			
				○		
					○	
						○
7	かさ	9	<p>◆ もののかさについて、その比べ方や普遍単位の必要性を理解し、測定する活動を通してまずでかさはかることや単位を適切に用いて表現することができるようにするとともに、量感を身につけて生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ ますの使い方や、かさの単位「L」、「dL」、「mL」のよみ方・かき方・相互関係がわかる。</p> <p>◇ かさの普遍単位の必要性がわかり、量感をもとにかさを予想したり適切な単位を判断したりする。</p> <p>◇ かさの測定に興味を持ち、適切な大きさのますを使っていろいろなもののかさを調べたり、身のまわりの入れものの容積表示を進んでみつけたら、身近な場面でいかそうとする。</p>			
				○		
					○	
						○

9	たし算とひき算のひっ算 (2)	10	<p>◆ 3位数の加減計算について、(3位数)±(2位数)の筆算を考えたり説明したりすることを通して、計算や十進位取り記数法の理解を深め、繰り上がりや繰り下がりのある筆算ができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 繰り上がりや繰り下がりに気をつけて、正しく筆算で計算することができる。また、繰り上がりや繰り下がりの操作を通して、十進位取り記数法についての理解を深める。</p> <p>◇ 既習の2位数の筆算をもとにして、百の位に繰り上がるたし算とその逆のひき算や、簡単な場合の(3位数)±(2位数)の筆算の仕方を考える。</p> <p>◇ 既習の2位数の筆算をもとに、進んで考え、また筆算の仕方やそのよさがわかり、進んで活用する。</p>	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> </table>				○				○				○
○																
	○															
		○														
9	図をつかって考えよう (2)	5	<p>◆ 文章題において、問題場面を図に表して数量の増減に着目して解法を考えることを通して、まとめて考える考え方を使って解くことができるようにするとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 増減する数量に着目し、「まとめて考える」という考え方を理解する。</p> <p>◇ 増減する数量に着目し、数図ブロックを操作したり、図に表したりして、まとめて考える。</p> <p>◇ 増減する数量に着目し、「まとめて考える」という考え方のよさに気づき、これを活用する。</p>	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> </table>				○				○				○
○																
	○															
		○														
10	しきと計算	5	<p>◆ 式について、( )の意味を理解し、( )を使って1つの式に表したり等号や不等号で大小関係を式に表したりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table>												

11		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 加法の結合法則の計算のきまりや（ ）を使った式の計算順序を理解し、（ ）を使った式の計算ができる。また、等号や不等号の使い方を理解する。</li> <li>◇ （ ）を用いて1つの式に表したり、等号や不等号を用いて大小関係を式に表したりする。</li> <li>◇ （ ）や不等号などを用いると、考え方や数量の関係を簡潔に式に表せることに気づき、（ ）や不等号などを用いて式に表す。</li> </ul>	○		
11	かけ算（1）	<p>16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ かけ算九九について、その意味や式について理解し、ブロックを操作する活動を通してかけ算になる場面をとらえて式にかいたり、かける数が1増えたときの積の増え方に着目して2～5の段の九九を構成したりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</li> <li>◇ かけ算の意味を知り、1つ分の大きさのいくつ分を求めるときにかけ算を用いればよいことが理解し、また、かけ算の式に表したり、九九を唱えたりして、問題を解く。</li> <li>◇ ブロック操作をもとに、かける数が1増えると積はかけられる数だけ増えることを使って、九九を構成する。</li> <li>◇ 累加の簡潔な表現としてのかけ算のよさに気づき、身のまわりからかけ算で表される数量の場面を見つける。</li> </ul>			
	かけ算（2）	<p>13</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ かけ算九九について、アレイ図を使った活動を通して6～9の段や1の段の九九を構成したり、かけ算を使って問題を解決したりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</li> </ul>			

		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ アレイ図を使った九九の構成の仕方 やかけ算が用いられる場面について 理解する。また、かけ算の式に表し たり、九九を唱えたりして、問題を解 く。</li> <li>◇ アレイ図をもとに、かける数が1ふえ ると積はかけられる数だけふえること を使って、九九を構成する。</li> <li>◇ かけ算や九九のよさがわかり、進んで 用いる。</li> </ul>	○		
12	三角形と四角形	<p>11</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 三角形や四角形について、観察を通 してその分類や意味を理解し、構成要 素を調べたり図形を構成したりする ことを通して平面図形の性質やその見 方・考え方をとらえさせるととも に、生活や学習に活用しようとする 態度を養う。</li> <li>◇ 三角形、四角形、及び、長方形、正 方形、直角三角形の意味を理解し、 これらを弁別し、点を直線でつない だり、紙をおったり、方眼紙を使っ たりして、三角形、四角形、長方形、 正方形、直角三角形を作図する。</li> <li>◇ 三角形、四角形の弁別について、直 線の数に着目して考える。</li> <li>◇ いろいろな三角形や四角形をつくっ たり、身のまわりから見つけ、興味 をもって、長方形、正方形、直角三 角形を敷き詰める活動に取り組み、 平面の広がり気づく。</li> </ul>			
12	図をつかって考えよう (3)	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 文章題において、問題場面を図に表 して数量の違いに着目して解法を考え ることを通して、違いをみて考える考 え方を使って解くことができるよう にするとともに、用いた図や見方・ 考え方を生活や学習に活用しよう とする態度を養う。</li> <li>◇ 2つの数量の違いを比べやすいよう に、左側をそろえて2本のテープ図に 表す。</li> </ul>			
			○		

		<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 2つの数量の違いに着目して、一方の数量が多いということは他方の数量が少ないことであるというように考え、問題を解決する。</li> <li>◇ 2つの数量の違いを図に表して考えるよさに気づき、進んで図を使って問題を解く。</li> </ul>	○		
1	九九のきまり	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ かけ算九九について、九九の表の考察や九九の範囲をこえる乗法の計算の仕方を考えることを通して、乗法に関して成り立つ性質や九九の表のきまりを見いだしてかけ算の理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</li> <li>◇ 九九の表を使って、同じ答えのかけ算をみつけたり、乗法に関して成り立つ性質を理解したりする。</li> <li>◇ 九九の表の考察を通して、いろいろなきまりを見つけ、簡単な2位数と1位数との乗法の計算の仕方を考える。</li> <li>◇ 九九の表やかけ算のきまりに関心をもち、進んできまりを見つけたり、活用したりする。</li> </ul>		
			◇ 九九の表を使って、同じ答えのかけ算をみつけたり、乗法に関して成り立つ性質を理解したりする。	○	
			◇ 九九の表の考察を通して、いろいろなきまりを見つけ、簡単な2位数と1位数との乗法の計算の仕方を考える。	○	
			◇ 九九の表やかけ算のきまりに関心をもち、進んできまりを見つけたり、活用したりする。		○
1	100cmをこえる長さ	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 100cmをこえる長さについて、新たな普遍単位の必要性を理解し、測定する活動を通して1m以上の長さのものをはかることや単位を適切に用いて表現することができるようにするとともに、量感を身につけて生活や学習に活用しようとする態度を養う。</li> <li>◇ 長さの単位「m」を知り、「m」と「cm」の単位の関係を理解し、1mのものさしを使って、手際よく長さを測る。</li> <li>◇ 大きな長さの単位の必要性に気づき、1mをこえる長さを表すのに適切な単位を判断する。</li> <li>◇ 身のまわりの1mをこえるものの長さを、見当をつけてから測る。</li> </ul>		
			◇ 長さの単位「m」を知り、「m」と「cm」の単位の関係を理解し、1mのものさしを使って、手際よく長さを測る。	○	
			◇ 大きな長さの単位の必要性に気づき、1mをこえる長さを表すのに適切な単位を判断する。	○	
			◇ 身のまわりの1mをこえるものの長さを、見当をつけてから測る。		○
2					



2	1000をこえる数	<p>7 ◆ 1000をこえる数について、そのよみ方やかき方を理解し、100や1000を単位として数をとらえたり順序や大小について考えたりすることを通して、十進法の理解や数の見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 10000までの数をよんだり表したりし、10000までの数のしくみを、十進位取り記数法にもとづいて理解し、10000までの数の大小を比較する。</p> <p>◇ 既習の1000までの十進位取り記数法のしくみをもとに、10000までの数の表し方やしくみを考え、100を単位にして、10000までの数の大きさをとらえる。</p> <p>◇ 十進位取り記数法のよさに気づき、進んで10000までの数をよんだり表したりする。</p>	<table border="1"> <tr><td colspan="3" style="background-color: #cccccc;"></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </table>				○				○				○
○															
	○														
		○													
2	はこの形	<p>7 ◆ 箱の形について、観察を通して構成要素を調べたり、図形を構成したりすることを通して立体図形の性質やその見方・考え方をとらえさせるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 箱の形を構成する要素(面、辺、頂点)とそれらの数を知り、面と面のつながり方や位置関係をとらえ、工作用紙やひご、粘土玉を使って、箱の形やさいころの形をつくる。</p> <p>◇ 箱づくりを通して、箱を構成する要素(面、辺、頂点)に着目して、箱の形の特徴を見いだす。</p> <p>◇ 箱の形に関心をもって、箱の形を観察したりつくったりする。</p>	<table border="1"> <tr><td colspan="3" style="background-color: #cccccc;"></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </table>				○				○				○
○															
	○														
		○													

3	分数	<p>7 ◆ 分数について、半分をつくる活動を通して<math>1/2</math>の意味を理解し、<math>1/2</math>の半分やさらにその半分の大きさを調べたり、もとの大きさと分数で表された大きさの関係を考えたりすることを通して、簡単な場合の分数の意味を理解することができるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p> <p>◇ 具体的な操作を通して<math>1/2</math>や<math>1/4</math>の意味を実感的に理解し、その大きさをつくったり分数で表したりする。</p> <p>◇ 半分を2等分、半分の半分を4等分というように考えて、分数の意味をとらえ、図をもとに考えて、12個の<math>1/3</math>は4個というように表現したり、4個の3倍は12個というようなことに気づいたりする。</p> <p>◇ 半分や半分の半分などの大きさの表し方に関心をもち、分数で表す。</p>	
---	----	---	--

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 2 年	
教科等名	生活			準ずる教育課程		
ねらい	<p>(1)学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気付き、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。</p> <p>(2)身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。</p> <p>(3)自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活するようにする。</p>					
担当教員	岡名 沙輝			年間授業時数 105	時間	
使用教科書	わたしと生活 上・下（日文）					
主な指導の工夫	<p>・一人一人の思いや願いを実現する活動、体験活動と表現活動とが繰り返される活動を行うことで、学びの質を高める。</p> <p>・具体的な体験を通して、思考（比較、分類、関連付けなど）をさせることで新たな気付きを生み出す。</p>					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	2年生が はじまるよ	14	<p>◆ 学校生活で、先生や友だちと関わりながら、施設や生活のしかた、登下校に慣れ、安心して楽しく生活できる。</p> <p>◇ 1年生のときの様子をもとにして、2年生の生活で取り組みたいことを話し合い、互いの考えを交流しながらよりよい活動を計画する。</p>			
4-5	町たんけん1 —みんなでつかう 場 しょへ 行こう—	13	<p>◆ 町で働く人や町の様子（人・もの・こと）などを観察したり、調べたりすることで、自分たちの地域に関心を持ち、人と関わる喜びを味わうことができる。</p> <p>◇ 一人ひとりが町の様子についてウェブページを行いながら考えるとともに、それらを学級で話し合っ、町探検の計画を考える。</p> <p>◇ この施設の中にはどのような名前の部屋があるのか。それらはどのような機能があるのか、など気付いたことをカードに記述する。</p>			

			<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 地域センターの知りたいことや質問したいことなどを話し合い、探検の計画を立てる。</li> <li>◇ 地域センターでお世話になった人への感謝のカードを友だちと協力して作り上げながら、町探検の良さなどを振り返る。</li> </ul>	○			○
4-1	ぐんぐん そだて みんなの 野さい	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 野菜づくりを計画的に行うことで、野菜の育て方や育てるための様々な工夫に気付くとともに、友だちと協力して取り組むことの喜びを味わうことができる。</li> <li>◇ 計画をたてた野菜の育て方について、これまでの経験から考えてみたり、図鑑等を調べてみたりする。</li> <li>◇ 野菜の種をまいたり、苗を植えたり、水やりをしたりしながら、次の段階についても意欲をもつ。</li> <li>◇ 継続的・詳細に野菜の成長の様子を記録する。</li> <li>◇ 栽培活動中に起こった様々な困ったことについて、知恵を出し合ったり、詳しい人に聞いたりして、解決の方法を考え、実行する。</li> <li>◇ 収穫した野菜を使った料理について調べ、友だちと協力して計画を立てる。</li> <li>◇ 野菜を育てたことについて振り返り、その内容に応じて適切な方法を選んで発表する。</li> <li>◇ これまで育てた野菜の特徴と秋・冬の野菜とを比べて考えてみたり、次の計画を立ててみたりする。</li> </ul>			○	
7-9	夏休みを 楽しく すごそう	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ これまでの夏休みの経験を生かして夏休みの計画をたてて、それに取り組んでみるができる。</li> <li>◇ これまでの夏休みの経験を生かして、夏休みにチャレンジしたいことについての計画を立てる。</li> <li>◇ 夏休みに取り組んだことの良さを友だちと伝え合いながら、振り返ることができるようにする。</li> </ul>	○			○

			◇ 夏休みにチャレンジしたことを伝え合う活動を通して、その伝え方の良いところを見つけたり、伝えられた内容から新たな課題を考えたりする。	○
5-10	生き物はかせになろう	13	<p>◆ 身近な生き物を探したり飼育・観察したりする活動を通して、自然環境や生き物への親しみをもつとともに、生命の不思議さを感じ、それらを大切にしようとする心情をもつことができる。</p> <p>◇ 自分の知っていることや調べたことなどをもとにしながら、生き物を探す方法について考えてみる。</p> <p>◇ 生き物探しをしながら、どんなところにどのような生き物がいたのか、ということを書きカードに書く。</p> <p>◇ その生き物がすんでいた場所の水や泥、水草、土、石などの環境にも気遣いながら、その生き物に適したすみかをつくる。</p> <p>◇ 生き物に親しみを寄せながら世話をする。</p> <p>◇ 生き物を飼育する楽しさや飼育を通して知った発見や驚きなどを紹介し合う。</p>	○ ○ ○ ○ ○
9-10	町たんけん2 ーグループで 出かけよう	13	<p>◆ 1学期に知り合った町で働く人の様子をさらに詳しく調べたり、町の中の様々な仕組みについて詳しくなったりすることを通して、自分たちの地域に関心を持ち、人と関わる喜びを味わうことができる。</p> <p>◇ 新たに見つけたことや気になることについてカードに書く活動を通して、次の活動の課題を立てる。</p> <p>◇ 「生きものとなかよしはっぴょうかい」をし、互いに伝え合い、学習を振り返る。</p> <p>◇ 自分たちでたてた計画に沿って探検し、グループで協力して働いている人にインタビューを行う。</p> <p>◇ 校庭（公園）で季節探しの活動をする。</p>	○ ○ ○



2-3	こんなに大きくなったよ	13	<p>◆ 自分が大きくなるには多くの人に支えられてきたことに気付くことで、感謝の気持ちを持ち、これからの生活をより意欲的にしていこうという考えをもつことができる。</p> <p>◇ 友だちに教えてもらった自分の良さをさらに磨いて成長していこうとする。</p> <p>◇ 自分が思い出せなかった幼い時のことなどをインタビューすることを計画しながら、自分の成長の様子を知ろうとする。</p> <p>◇ カードや写真、集めた資料などをもとに成長の様子を絵巻物やアルバムなど自分なりの方法でまとめる。</p> <p>◇ 自分の成長についてまとめたことを発表することで、感謝の気持ちを表す。</p> <p>◇ これまでの成長を振り返ることで、3年生になってからも継続して取り組みたいこと、新たにチャレンジしたいことを考える。</p>	<div style="background-color: #cccccc; height: 50px; width: 100%;"></div> <div style="border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 400px; width: 100%; display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="width: 10%;"></div> <div style="width: 10%;"></div> <div style="width: 10%;"></div> <div style="width: 10%;"></div> <div style="width: 10%;"></div> <div style="width: 10%;"></div> <div style="width: 10%;"></div> <div style="width: 10%;"></div> <div style="width: 10%;"></div> <div style="width: 10%;"></div> </div>
-----	-------------	----	---	--

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 2 年	
教科等名	音楽			準ずる教育課程		
ねらい	(1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3)楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。					
担当教員	岡名 沙輝			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	教育出版					
主な指導の工夫	・児童の実態によって、楽器や活動の仕方を工夫しつつ、集団での取り組みを行う。 ・曲のイメージがもてるように、映像教材などを活用する。 ・リトミックや手話ソングなど表現の幅が広がるような活動を取り入れる。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	スキルアップ	6	◆ 手拍子によるさまざまな音や表現の特徴や、それらが生み出す面白さなどに気付く。 ◇ 曲想を感じ取って表現を工夫し歌う。	○		
5	強さやはやさを感じて	7	◆ 強弱や速度などの働きが生み出す良さや面白さを感じる。 ◇ 強弱の変化に興味をもち、交互唱に親しむ。		○	
6	リズムやドレミとなかよし	9	◆ 階名で模唱したり、リズム譜を見て演奏したりする技能を身に付ける。 ◇ リズム表現や鍵盤楽器の演奏に親しむ。		○	
7	音のスケッチ	5	◆ 音の重なりやフレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと ◇ 和音やリズムを聴き取り、和音の響きに親しむ。	○		
9	きよくに合った歌い方	6	◆ 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 ◇ 曲想に合った歌い方を考えて歌う。		○	



10	音のスケッチ	6	◆ 身の回りのいろいろな音の特徴に、それらの生み出す面白さなどと関わらせて気付く。 ◇ 身の回りの音を探したり聞いたりして環境音に親しむ。				
11	いい音見つけて	3	◆ 楽器の音色やリズムに興味をもち、打楽器に親しむ。				
	にっぽんのうた みんなのうた	4	◇ 楽器の音色、リズムや旋律の反復と変化を聴き取り、音色を工夫して楽器を演奏する。				○
		2	◆ 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、日本のうたに親しむ。 ◇ 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。				○
12	おまつりの音楽	3	◆ 太鼓の音に興味をもち、日本のうたや太鼓に親しむ。 ◇ 太鼓の音やリズムを聴き取り、よさを考えながら演奏の楽しさを見出して聴く。				○
1	きょくのながれ	4	◆ 表題曲やオーケストラの響きに親しむ。 ◇ 曲の楽しさを見出し、曲全体を味わって聞く。				○
2	くりかえしとかさなり	3	◆ 反復や重なり、速度の変化を生かした表現に興味をもち、合唱奏に親しむ。 ◇ 曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するか思いをもつ。				○
	みんなで合わせて	4	◆ 声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。 ◇ 友達と歌や音を合わせることに興味をもち、パートナーソングや合唱奏に親しむ。				○
3	にっぽんのうた みんなのうた	4	◆ 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、日本のうたに親しむ。 ◇ 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。				○
	おとのスケッチ	4	◆ 音型の反復や重なりに気付き、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 ◇ 時計を表す音楽づくりに親しむ。				○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第 2 年	
教科等名	図画工作			準ずる教育課程		
ねらい	(1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。					
	(2)造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。					
	(3)楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、作りだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。					
担当教員	岡名 沙輝			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	ずがこうさく1・2上下(日文)					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみ、カッターなどの刃物を使用するときは、安全面に配慮する。</li> <li>・学年に応じた技法を提示するとともに、活用できるようにする。</li> <li>・作品の良さなどを全体に伝える。</li> </ul>					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	おはなみスケッチ	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ いろいろな場所にある春を感じる形や色などを捉えながら表したいことを見付け、表し方を工夫して絵に表す。</li> <li>◇ 自分がかきたいと思ったものを、感じた色でかく。</li> <li>◇ かいたものを大きな画用紙などに並べて、さらに思いついたものをかき足して表す。</li> <li>◇ 工程などに出て、春だと感じるものを探す。</li> </ul>			
	ひかりのプレゼント	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 光を通す材料で色や形が映し出される面白さを感じ取り、いろいろな形や色などを捉えながら、見え方や見え方の変化を楽しむ。</li> <li>◇ 光を通す材料を集め、材料を自由に選び光を通して映る形を試す。</li> <li>◇ 光を通す材料を並べたり積んだり、色を塗ったりして映り方の変化を見付け。活動を広げる。</li> </ul>			
5						

6	にぎにぎねんど	5	<p>粘土を握ってできた形から表したいものを見付け、手や指の感覚を働かせて色々な形や触った感じなどを捉えながら、表し方を工夫して立体に表す。</p> <p>◇ 粘土を握って形を変えることを知る。</p> <p>◇ 握った形を基に、ひねり出したりつまみ出したりして、自分の気に入った形にしていく。</p> <p>◇ いろいろな握り方を試して、いろいろな形をつくろうとしている。</p>				
	ふしぎなたまご	4	<p>◆ ふしぎな卵から生まれるものやお話を想像し、いろいろな形や色などを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。</p> <p>◇ どのようなたまごがあったら面白いかわかり、たまごをつくる。</p> <p>◇ たまごの割れ方や飛び出し方を考えて表す。</p> <p>◇ どのようなたまごからどのようなものやお話が出てくるのか話し合う。</p>				
	7	しんぶんしとなかよし	4	<p>◆ 新聞紙に十分に慣れるとともに、並べたり、破いたり、まとったり、丸めたり、ねじったりするなど、活動を工夫してつくる。</p> <p>◇ 紙の感触を味わいながら、思い付いたことを試す。</p> <p>◇ 手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくる。</p> <p>◇ 自分のイメージをもちながら、新聞紙の形や大きさ、触った感じなどを基に造形的な活動をする。</p>			
		まどからこんにちは	4	<p>◆ カッターナイフで切込みを入れてできた窓の形や仕組みから表したいものを見付け、いろいろな形や色などを捉えながら、工夫して表す。</p> <p>◇ 色画用紙などにいろいろな切り込みを入れて窓をつくる。</p>			

			<p>折って立てるなどして、家の様子 ◇ にしていき、思いついたことを付け加えたり、書き足したりする。 友人とお互いの作品を紹介し、工夫したことなどを伝え合う。</p>		○		○
9	音づくりフレンズ	3	<p>◆ 身近な材料で音を出す仕組みをつくり、いろいろな形や色、触った感じなどを捉えながら、音からイメージした飾りを工夫し、鳴らして楽しむ。</p> <p>◇ いろいろな材料を使って、どのような音が鳴るのか試す。 楽しいと感じた音や材料を使って、音の鳴る仕組みをつくり音の感じに合わせて飾る。 音に合わせてたり、歌ったりしながら音を鳴らして、つくったものの楽しさや面白さを味わう。</p>				
	つないで つるして	4	<p>◆ 細長い紙をつないでいくことで造形的な活動を思いつき、いろいろな形や色などを捉えながら、つなぎ方やつるし方などを工夫し、友人とも関わりながら、新しく出来ていく形を楽しく作る。</p> <p>◇ 紙を細長く破いたり、切ったりして、どんどんつなげていく。 つないだりつるしたりするなど、工夫してつくっている。</p> <p>◇ 細い紙やつないだりつるしたりしてできた形や色などを基に造形的な活動を思い付く。</p>				
10	はさみのあーと	4	<p>◆ ハサミで紙を自由に切ることを楽しみ、切った形うい見ながら表したいことを見付け、いろいろな形や触った感じなどを捉えながら、切り方や置き方を工夫して絵に表す。</p> <p>◇ 切った形を見たり、並べたりして、表したいことを見付け、のりではる。</p>				

		<p>はさみで思いのままにどンドン切ることを楽しみながら、絵に表したのを見て、題名を考える。</p> <p>◆ 作品を見合い、自分たちの作品のよさや面白さを味わう。</p>			○			
11	おもいでをかたちに	3	<p>◆ 楽しかったことやうれしかったことを思い出して表したいことを見つけ、粘土のいろいろな形や触った感じなどを捉えながら、表し方を工夫して立体に表す。</p> <p>つまみ出したりひねり出したり、</p> <p>◇ 粘土べらや竹串を使ったりしながら表す。</p> <p>◇ 思い浮かべたことから表したいことを考える。</p> <p>◇ 生活の中で心に残ったことを思い浮かべ、発表する。</p>					
	ことばのかたち	4	<p>◆ 読んだり聞いたりした物語から想像を広げ、いろいろな形や色などを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。</p> <p>◇ 想像を広げ絵に表す。</p> <p>◇ 思い浮かべた様子から絵に表したいことを考える。</p> <p>物語を読んだり聞いたりして、好きなどころを思い浮かべたり話し合ったりする。</p>					
12	わくわくおはなしゲーム	6	<p>◆ みんなで仲良く選ぶすごろくやゲームを考え、いろいろな形や色などを捉えながら、材料の使い方などを工夫してつくり、楽しく遊材料や方法を考えながら、お話や</p> <p>◇ できごとの場面を表し、並べ方やつなぎ方を工夫する。</p> <p>◇ すごろくやゲームにしたいお話や出来事、場面などを考える。</p> <p>できたゲームで遊びながら、お互いの表したかったことや工夫を感じ取る。</p>					

1	パタパタストロー	<p>4 ◆ ストローを組み合わせてつくった動く仕組みから表したいことを考え、いろいろな形や色などを捉えながら、仕組みを組み合わせたリ、思いに合う材料を使ったりして工夫して表す。</p> <p>◇ 教科書などを見て動く仕組みを知り、思いついたことに合わせて材料を工夫して使い表す。</p> <p>◇ 仕組みを動かしていろいろな向きから見るなどして、表したいことを考える。</p> <p>◇ 友人とお互いの作品を動かして見合いながら、表現の違いや面白さを感じ取る。</p>			
2	ともだちハウス	<p>6 ◆ 空き箱や身近な材料を使って「小さな友達」の喜ぶ家を考え、いろいろな形や色などを捉えながら、表し方を工夫して表す。</p> <p>◇ 小石などの材料で「小さな友だち」に出会い、顔をかくなどする。</p> <p>◇ 空き箱などの材料を生かして、「小さな友だち」が喜ぶ家を考え友人とお互いの家を「小さな友だち」と一緒に訪問しながら、面白さを味わう。</p>			
	たのしくうつつして	<p>4 ◆ 紙を切って型紙をつくって形を写したり、書き加えたりしながら、いろいろま形や色などを捉え、工夫して版に表す。</p> <p>◇ 型紙のつくり方や刷り方を知り、どのようなことを表すのか考え、型紙をつくる。</p> <p>◇ 型紙を置く位置を考えたり、どの色を使って刷るのかを考える。</p> <p>◇ 友人とお互いの作品を見合わせながら、表したいことや工夫を伝え合おうとする。</p>			

3	ともだち見つけた	6	<p>◆ 自分でつくったカメラで顔に見える形を探したり、顔に見える形を探して、小さな紙に簡単にかくことで、身の回りのものの造形的な面白さや楽しさを味わい、いろいろな形や色などを捉えながら、見方や感じ方を広げる。</p> <p>◇ 教科書などを参考に身の回りには、よく見ると顔に見えるものがあると知り、色画用紙などでカメラをつくる。</p> <p>◇ 虫眼鏡や自分でつくったカメラを使って、植物や学校にあるもので顔に見えるようなものを見付けようとする。</p>	<div style="background-color: #cccccc; height: 40px; width: 100%;"></div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; border-radius: 50%; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; border-radius: 50%; margin: 5px;"></div> </div>
---	----------	---	---	---

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和3年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画（案）

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 2 年	
教科等名	体育			準ずる教育課程		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身につけるようにする。</li> <li>・運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</li> <li>・運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。</li> </ul>					
担当教員	岡名 沙輝			年間授業時数	28 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態や目標に即して、小集団に分けて授業を行う。</li> <li>・児童が自分の運動の振り返りを行うことができるようにするため、振り返りシートや視覚教材等を活用する。</li> <li>・児童が授業における目標を設定することで、主体的に運動に取り組めるようにする。</li> </ul>					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	体づくり運動	2	◆ 体操など基礎的な身体の運動を通して、自己の身体の動きに対する理解を深める。			
	運動会の練習		◇ ラジオ体操・ストレッチ ◇ 隊形づくりの練習	○		○
5	運動会の練習	4	運動会における競技の内容を知り、 ◆ 自己ができる運動を高めながら、競技に積極的に参加する。 ◇ 参加競技と関連する動きの練習			
6 ～ 7	体づくり運動 生活と健康（保健）	3	◆ 自身の生活を振り返るとともに、健康への興味関心を高める。 ◇ 生活習慣病についての学習 ◇ 薬物についての学習			
				○	○	



月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
9 月 1 2	ハンドサッカー （ボール運動） 病気の予防（保健）	11	◆ ルールのある競技を通して、自己の運動力を高めるだけでなく、友達と ◇ ハンドサッカーにおけるルールの理解 ◇ ボールを投げる・転がす等の練習 ◇ チームでの練習と試合  ◇ 病気の予防と生活の工夫に対する理解	○	○	○
1 月 3	表現の運動	8	◆ 集団でのリズムダンスを通して、自己 ◇ 小グループでの動きの確認 ◇ 小グループでの練習・発表		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	小学部	学年	第2年	
教科等名	特別の教科 道徳		準ずる教育課程			
ねらい	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。					
担当教員	岡名 沙輝		年間授業時数	35	時間	
使用教科書	小学どうとく ゆたかな こころ2年(光文書院)					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活全般にわたって指導する。</li> <li>・題材によっては、特別の教科 道徳の教科書だけを取り扱うのではなく、各教科および特別活動との関連を考慮しながら指導していく。</li> </ul>					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				理解	心情	意欲
4	学校 大すき(学校 大すき、先生 大すき)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆先生を敬愛し、学校で働く人々に親しんで、クラスや学校の生活を楽しくしようとする。</li> <li>◇自分たちは、学校でどんな人のお世話になっているか話し合う。</li> <li>◇これから自分たちにできることを考え、まとめる。</li> </ul>			
5	学校たんけん(あいてのきもち)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆幼い人の気持ちや立場を理解しようと努め、幼い人が困っていたら助けたいと願う心をもって親切にしようとする。</li> <li>◇入学してきた1年生の気持ちを考え、親切、思いやりについて考える。</li> </ul>			
6	きもちのよい いへのせいかつ(そこだよ ポンタくん)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆健康に気をつけ、物を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をしようとする。</li> <li>◇家の生活で、ちゃんとできるようになったことと、うまくできなかったことをお互いに聞き合う。</li> <li>◇家庭生活を見直し、気持ちよく過ごすにはどうしたらよいか考える。</li> </ul>			
7	みんな なかよし(およげない りすさん)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自他の違いを理解し、お互いを認め合い、友達と仲よく助け合って活動しようとする。</li> <li>◇「およげない りすさん」を読み、仲よく遊ぶことのよさについて考え、授業で学んだことをまとめる。</li> </ul>			
9	あいさつパワー(あいさつがきれいな王さま)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆気持ちのよいあいさつができるように心がけて、明るく接しようとする。</li> <li>◇あいさつのよさや大切さについて話し合う。</li> <li>◇あいさつパワーについて話し合う。</li> </ul>			

10	はやね はやおきで けんこうに  (ピーマンマンとよふかし大まおう)	3	◆ 自分の健康や安全に気をつけ、わがままをしないで、規則正しい生活をしようとする。 ◇ 「ピーマンマンとよふかし大まおう」を読み、規則正しい生活の大切さについて考える。 ◇ よふかし大まおうに負けないために作戦を考える。						
11	おもいやりの ところ (ぐみの木と 小鳥)	3	◆ 身近にいる人の身の上や心情に思いを寄せ親切にしていこうとする。 ◇ 「ぐみの木と 小鳥」を読み、思いやりの心と行為について考える。 ◇ 授業で学んだことをまとめる。						
12	いけない ことは (くつかくし)	3	◆ よいことと悪いことの区別をし、してはいけないことは絶対にしないようにして、生活しようとする。 ◇ 「くつかくし」を読み、してはいけないこととそのわけを考える。 ◇ してはいけないこととその理由についてまとめる。						
1	あかるい ところで (お月さまがみている)	3	◆ 人には正直に生きようとする心があることが分かる。 ◇ 正直について考える。 ◇ 「お月さまが みて いる」を読み、正直であることについて考え、授業で学んだことをまとめる。						
2	あたたかい ところ (とくべつな たからもの)	4	◆ 身近な人に対して温かい心をもって親切にすることのよさが分かり、親切にしようとする。 ◇ 「とくべつな たからもの」を読み、温かい心について話し合う。 ◇ 親切や思いやりについて自分の体験を振り返る。						
3	わたしの 生きる 力 (わたしの ものがたり)	4	◆ 自分が成長したり生きて活動したりできるのは、「つくった力」と「もらった力」の二つの力があるからだと分かり、その力を発揮してかけがえのない生命を大切にしようとする。 ◇ 「わたしの ものがたり」を読み、生きる力について考え、自分の「生きる力」について発表する。						

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和3年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	小学部	学年	第 2 年	
教科等名	特別活動			準ずる教育課程		
ねらい	(1)望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。					
担当教員	岡名 沙輝			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が見通しをもって活動できるように、ねらいや予定を明確に示す。</li> <li>・活動の振り返りができるワークシート、作文などを活用する。</li> <li>・児童一人一人の実態に合わせたねらい、手立てを工夫する。</li> </ul>					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	儀式的行事	9	◆ 見通しをもち、落ち着いて参加する。 ◇ 始業式、終業式、修了式			○
	学年の時間		◆ 同学年の友達とすすんで交流する。 ◇ ゲーム、行事事前学習など			○
4	オリエンテーション 係活動について	11	◆ 一年間の行事や予定に見通しをもち、学習グループの一員としての自覚 ◇ 予定確認、係活動決め			○
7 ・ 12	お楽しみ会をしよう	10	◆ お楽しみ会の企画・運営を通して、自主性や実行力を養う。 ◇ 学期末のお楽しみ会の企画・運営		○	
7 ・ 12	長期休みの過ごし方について	5	◆ 長期休みの過ごし方について考え、計画的に過ごせるようにする。 ◇ 目標決め、計画		○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度